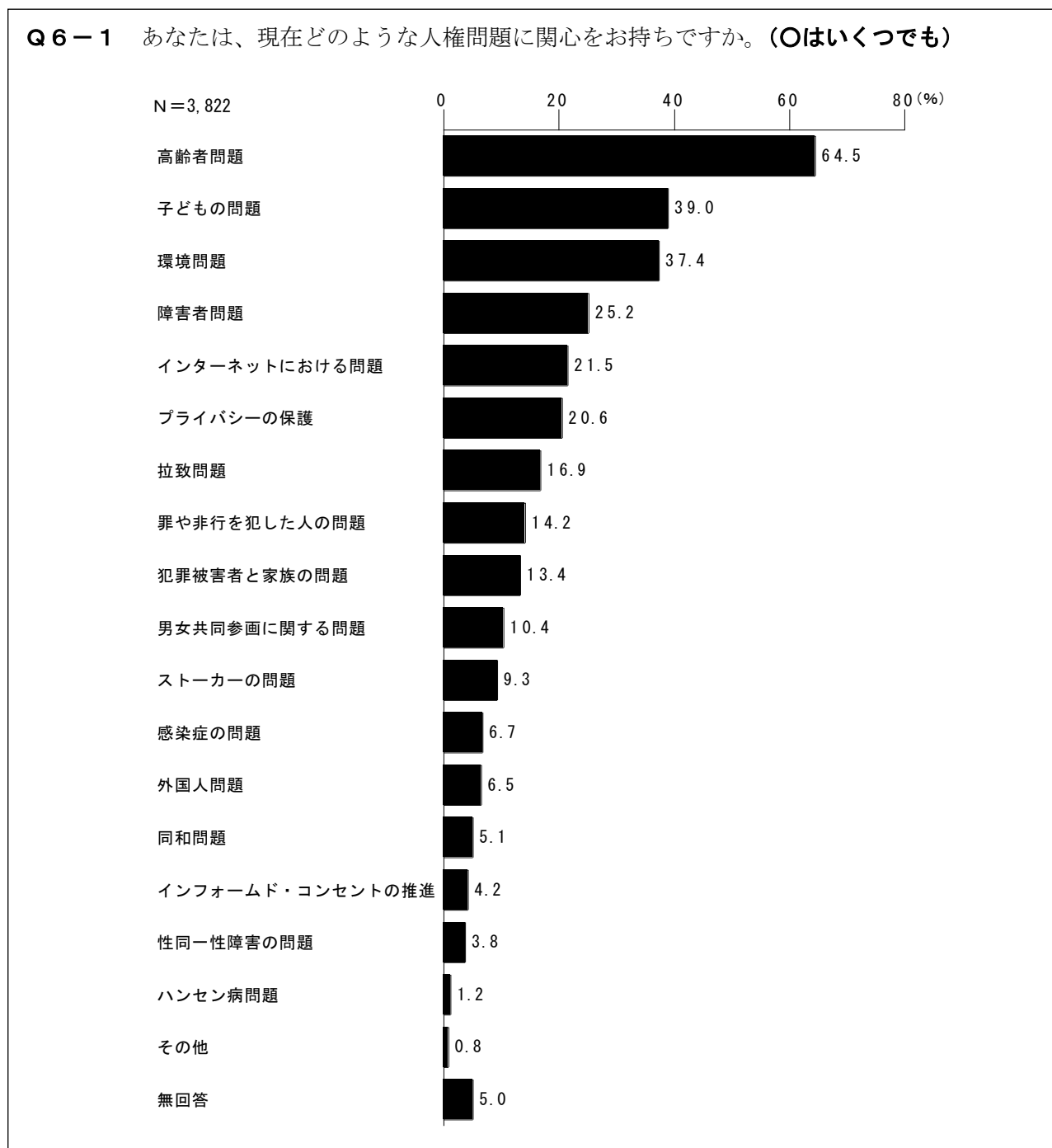


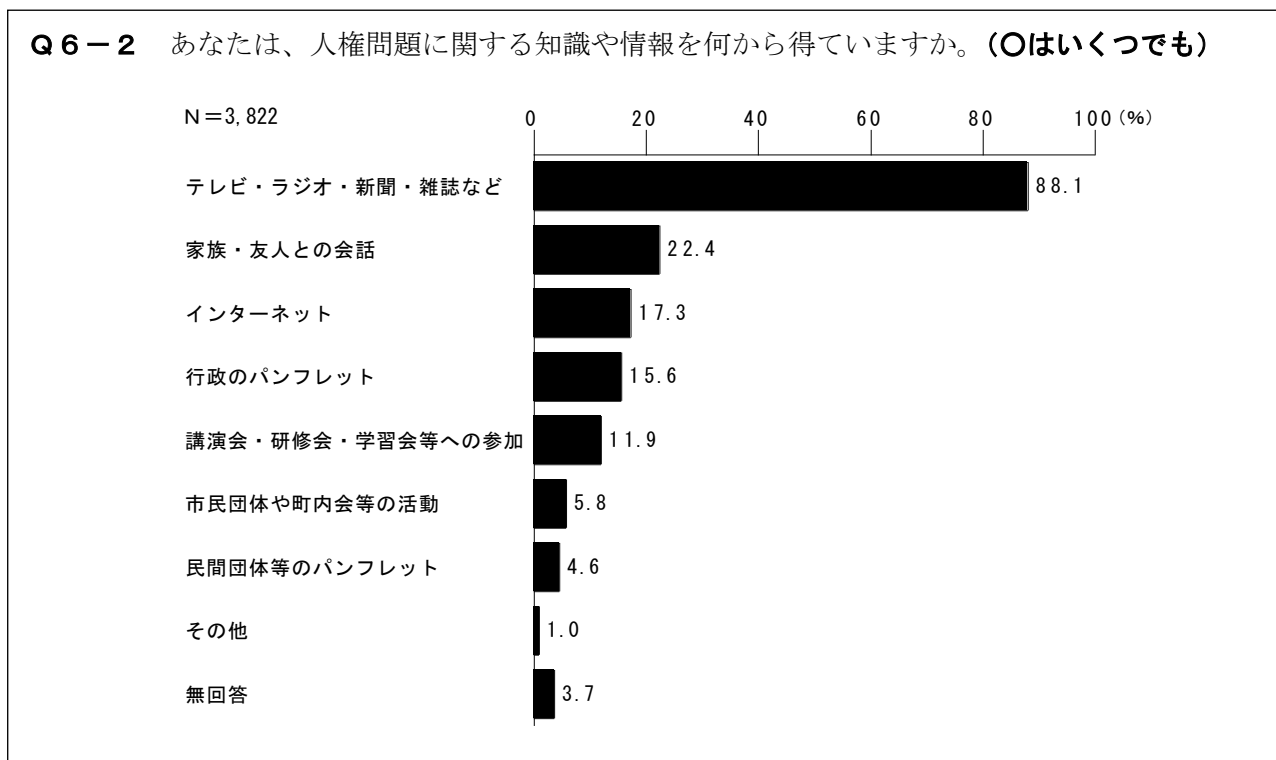
6. 関心がある人権問題

6-1. 現在関心を持っている人権問題



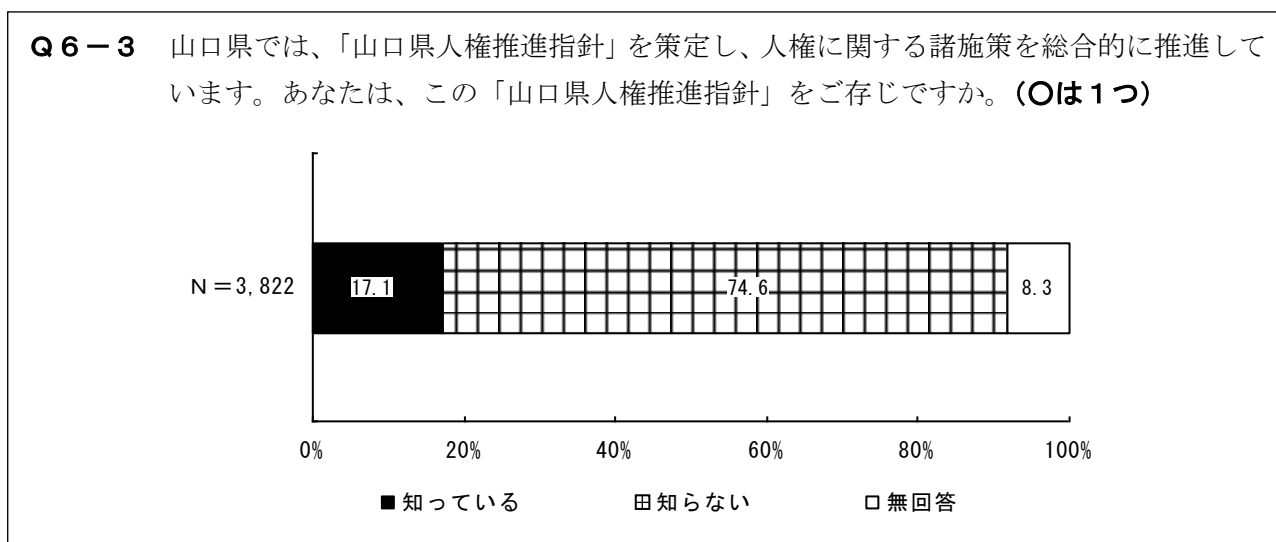
現在関心を持っている人権問題について、「高齢者問題」が 64.5%と最も高く、次いで「子どもの問題」(39.0%)、「環境問題」(37.4%)、「障害者問題」(25.2%)、「インターネットにおける問題」(21.5%)、「プライバシーの保護」(20.6%)などの順となっている。

6-2. 人権問題に関する知識や情報の入手媒体



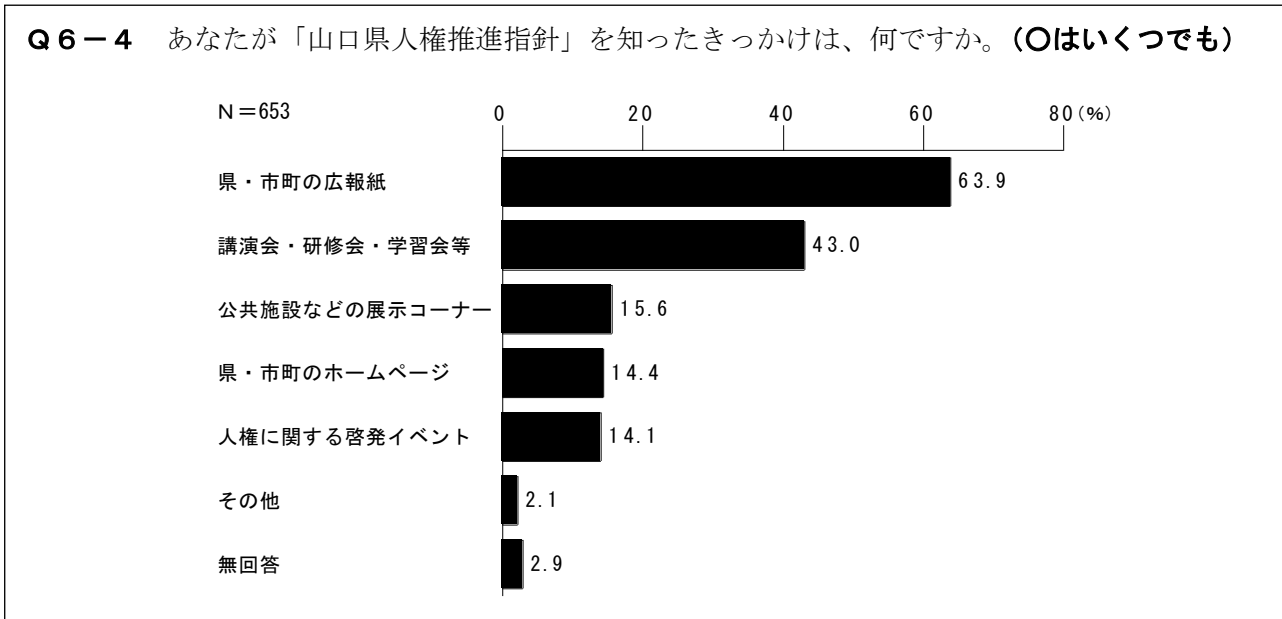
人権問題に関する知識や情報の入手媒体について、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など」が 88.1% と最も高く、次いで「家族・友人との会話」(22.4%)、「インターネット」(17.3%)、「行政のパンフレット」(15.6%)、「講演会・研修会・学習会等への参加」(11.9%) などの順となっている。

6-3. 「山口県人権推進指針」の認知度



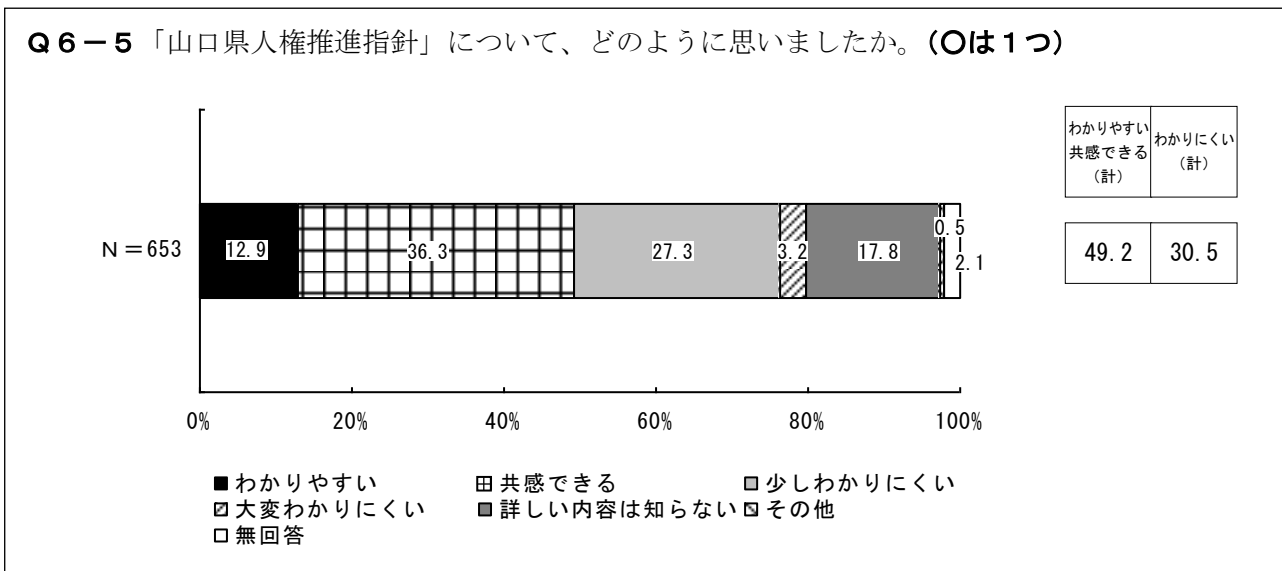
「山口県人権推進指針」の認知度について、「知っている」が 17.1%、「知らない」が 74.6% となっている。

6-4. 「山口県人権推進指針」を知ったきっかけ



Q6-3で「知っている」と回答された方に、「山口県人権推進指針」を知ったきっかけについて質問すると、「県・市町の広報紙」が63.9%と最も高く、次いで「講演会・研修会・学習会等」(43.0%)、「公共施設などの展示コーナー」(15.6%)、「県・市町のホームページ」(14.4%)、「人権に関する啓発イベント」(14.1%)の順となっている。

6-5. 「山口県人権推進指針」に対する印象



Q6-3で「知っている」と回答された方に、「山口県人権推進指針」に対する印象について質問すると、「わかりやすい」と「共感できる」を合わせた『わかりやすい・共感できる (計)』が49.2%、「大変わかりにくい」と「少しわかりにくい」を合わせた『わかりにくい (計)』が30.5%となっている。また、「詳しい内容は知らない」も17.8%となっている。